



# 市長 からの 手紙

## 77 消防団

埼玉県消防協会川越支部の消防ポンプ操法認定審査会に行きました。消防ポンプ自動車で火災現場に出動する場合の技術を競う審査会で、消防自動車への乗車から始まり、ホースの延長、放水、撤収までの技術、時間などが採点されます。川越地区消防組合管内の消防団、つまり川越市消防団、川島町消防団の全分団が参加しています。この審査会で1位になった分団は、県大会に出場でき、県で1位になると全国大会に出場できます。

審査会では、どの分団も大変きびきびとした操法を披露し、日ごろの訓練の成果が十分うかがえる優れた内容でした。もちろん、団員の息がぴったり合っているかとか、ホースさばきの手際の点など、分団により違いが見受けられます。

消防団は、消防組織法という法律に基づき市町村に設置される消防組織で、団員は普段、自

分の職業に従事しながら、火災などの非常時には災害への対応をする非常勤の特別職地方公務員となります。

実際の活動としては、平常時は災害対応のための訓練や資機材の点検、災害に備えた啓発活動、火災の時は消火活動や現場の避難誘導等を行います。消防団員は原則水防団員を兼務しており、風水害に対応して水位の警戒監視活動や土のう積み作業なども行います。

消防団員には、金額は多くはないですが年額報酬と出動手当が支払われ、一定年数以上勤務して退団する際には退職報償金が支給されます。また、消防団活動に必要な被服は貸与されますし、万一、消防団活動中に負傷等した場合は、公務災害として補償されます。

消防団員は、全国的に担い手が少なくなっており、定員に満たない状態の消防団が各地で増えています。川越市消防団も定員に比べて40人以上不足している状況で、常時団員を募集しています。現在は、女性消防団員もおり（川越市では21人）、大学生や公務員で消防団員になっている人もいます。18歳以上で、先に紹介したような消防団の活動が行える方であれば消防団員になれますので、ぜひ、多くの方に応募していただきたいと思っています。

川越市長 川合善明

ともに支え合ひ、暮らしついでくまち 4

障害者福祉課 224・5785

Fax 225・3033

今回は、精神障害と内部障害についてです。これらの障害は、外見では分かりづらい場合があるため、理解されにくい傾向があります。コミュニケーションの取り方や気を付けるポイント等について知り、理解を深めましょう。

### 精神障害について

精神障害とは、精神疾患により生活のしづらさを抱えている状態をいいます。主な精神疾患には、統合失調症・うつ病・双極性障害・アルコール依存症・薬物依存症・不安障害・てんかん・認知症などがあります。

### コミュニケーションの取り方

●相手に不安を感じさせないように、穏やかな対応を心掛けましょう

●一度にたくさんのお話をされると混乱する方もいます。内容が理解されたことを確認しながら対応しましょう

### 内部障害について

内部障害とは、病気などによって内臓機能に障害があり、日常生活に支障がある状態をいいます。例えば、呼吸器機能障害・心臓機能障害・腎臓機能障害などがあります。

### 気を付けるポイント

●呼吸器に障害のある方には、たばこの煙が悪影響を及ぼします。指定場所以外での喫煙は控えましょう

●心臓に障害のある方で心臓ペースメーカーを使用している方には、携帯電話やスマートフォンからの電磁波が悪影響を及ぼすことがあります。混雑した場所では、電源を切るようにしましょう